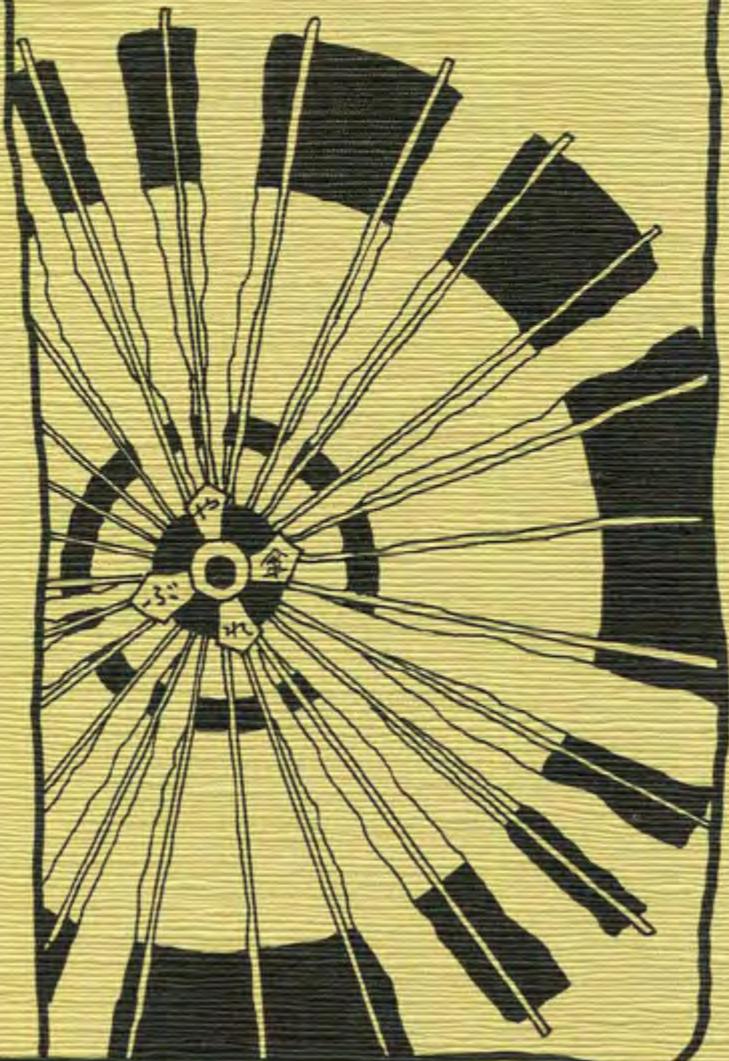


# やぶれ傘



七十七号

二〇一四年四月



牡丹の芽

丑久保勲

羊羹と番茶の日向ぼこりかな  
啓蟄や大音響の單車去り  
枯山水の石へ足跡梅の花  
荷ほどきをしてゐる庭師花馬酔木  
セスナ機の過ぎる青空かすみけり  
骨のやうな枝に牡丹の芽の確か  
春の日を背に本殿に参りけり  
針金に掛ける雑巾水温む  
蓮台を溢るる水の温みけり  
春風に卒塔婆の鳴る日なりけり

木五倍子

渡邊孝彦

冬枯れの藪に雀の出入りかな  
初大師護摩札受けの列につき  
大寒や大道芸に人残る  
寒梅や日は街角に残りゐて  
丘に見る遠き山々春浅し  
はだれ野をつつと行けり鳥の影  
木五倍子咲く白波の海見下ろして  
暮れなづむ山の窪地や土佐水木  
海からの風騒ぐ山木五倍子咲く  
聞門を差し潮くぐる竹の秋

春の川

小山陽子

斑雪チエーン巻きたるバスの揺れ  
窓越しに人と目の合ふ余寒かな  
信号のぴよぴよと鳴る春の月  
実印を試し押しする春の夜  
春遅し蚊の飛ぶやうな目の病  
春の川発車のベルの聞こえる  
春の灯や外階段に人の影  
春の宵前を鼠のやうなもの  
街灯と桜一本立つてゐる  
近寄れば雀の骸春疾風

陽炎

久世孝雄

更けし夜の窓開けてみる雪の嵩  
日脚伸ぶ太陽光の発電所  
うたた寝の耳をくすぐる春日かな  
ゆるみたる土深々と耕せり  
外は雨目刺の腸のほろ苦し  
陽炎の中に降り立つ鳩の群れ  
春の昼遅々と進まぬ書の整理  
春一番新幹線が突つ走る  
大樫弾けるやうに芽吹きけり  
羽繕ふ所作は夫婦や残り鴨

バス

石原健二

足袋裏の薬くすね煉も融けぬ寒稽古  
昼に乗るバスの窓側冬日差  
雪吊りの縄のゆるみて水光る  
日向へと長靴並べ冬終はる  
雪融けや竹のそよぎのかをりして  
足跡は鹿また狐春の雪  
薄氷を音たてて踏む登校児  
鳥ぐもり鼻緒のゆるみそのままに  
塀上の鳴きが決めてか猫の恋  
白木蓮が息吹くごとしや雑木山

梅 香 る

國保八江

神 棚 に 一 合 榭 の 年 の 豆  
稻 荷 へ と 坂 道 続 く 藪 柑 子  
大 氷 柱 の う し ろ を 水 の 流 れ ゐ る  
粗 朶 の 火 の ぱ ち ん と 跳 ね て 春 寒 し  
梅 香 る ひ と 日 は 母 の 忌 な り け り  
祖 母 の 雛 飾 り て し ば し 座 し ゐ た る  
山 菜 莢 の 花 の 明 る き 写 経 会  
雛 飾 る 山 の 湯 宿 の 暮 れ に け り  
買 物 帰 り 春 満 月 と 歩 き け り  
桃 の 花 わ が 背 丈 越 す 孫 娘

干  
鱗

有賀昌子

ホイールで包みし芋を焚火へと  
釣瓶井戸の蓋の上なる鏡餅  
粗朶の火の生木へうつるどんど焼き  
九谷碗の抹茶一服春隣  
敷石に猫の足跡うらけし  
うす紅の色に腹透け干鰯  
春の列車にハーモニカ吹くをとこ  
異人館の梅の見ごろとなりにけり  
焼き榮螺腸そつとねぢり出し  
花すみれ日向日向に咲きにけり

散  
髪

松村光典

土曜日 を猫と丸まる雪見かな  
餌台になにも残さず冬の鳥  
いい天気なり寒稽古終へしとき  
節分のぽかぽか陽気豆を噛む  
春の雲残して空の晴れ上がる  
のどけしや軒聞こゆるバスのなか  
わが庭に葉牡丹ひとつ際立ちて  
散髪の椅子にまどろむ春の昼  
春一番上着一枚剥がしけり  
春雨やバス待つ人の列につき

二日分残して抛る風邪葉  
利き腕のいささか太し豆を撒く  
熱爛や二杯目からは手酌して  
隨身のきやしやな姿や雛飾る  
太刀・扇ひとつ袋に雛納め  
長靴に出番のきたる春の雪  
庭隅に名の知らぬ草青みけり

大野芳久

雪かきの雪に埋もるる雪だるま  
淡雪の傘に落ちくる音聴いて  
足早に林を過ぎる余寒かな  
交番に道をたづねる春隣  
十二時のからくり時計冴返る  
雨上がる夜更けの月のやや朧  
暮れてゆく野にまんさくの暮れ早し

岡田香緒里

奥田温子

味見してよしとひと声根深汁  
御手洗の筧あををあを初詣  
朝の陽に透ける臘梅横に見て  
焚火して降り来る灰を浴びてをり  
蒸し鰯干し直さるる軒端かな  
食用の菜花ほころぶ厨かな  
道行くは旧知の猫よ柳の芽

神山市実

凍て土のかさぶたに似て盛り上がる  
齒科医院の庭に一坪葱畑  
雪折れの小枝一輪猪口に挿し  
音たてて排水管の雪解水  
雪の苑へ踏み入りすぎしかと思ふ  
屈みてはかまくらの中覗き見る  
日かげより日なたへと出る恋の猫

## ◇ 5月・6月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
5月	2日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	6日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	7日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	17日(土)	PM2:00	セヨリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	24日(土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男
	25日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	30日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
6月	2日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	鎌倉・瑞泉寺	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セヨリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	28日(土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

5月のNHKは5月30日(金)です。

6月15日(日)の吟行。集合は10時。集合場所はJR鎌倉駅東口改札口

(若宮大路の方)。吟行地は瑞泉寺。句会場は鎌倉虚子立子記念館。

◎ 連絡先 瀬 島 孟 ☎ 048-862-2757 藤 井 美 晴 ☎ 0422-55-2733  
 大 島 英 昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870  
 廣 瀬 雅 男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565  
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ